

「令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第15回研修を開催しました！」

第15回の研修は、令和4年9月9日(金)、10日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の講義は、土づくりに関連する残渣のたい肥化及び市販のたい肥の製造工程、こまつなの栽培及びトマトの出荷調製でした。

残渣のたい肥化では、たい肥の施用効果、種類別の特性と、野菜くずや残渣などでも、たい肥を作れることを学びました。

また、市販のたい肥の製造工程では、実習で使ったしずくいしアグリリサイクルセンターの堆肥が、原料から製品になるまでの工程を、スライドと動画で学びました。

受講生は、第2回研修の「土づくり」に不可欠な堆肥について学んだことで、改めて土づくりの大切さを感じたようでした。

トマトの出荷調製では、JA新しいわて南部営農経済センターの出荷規格表を使って、出荷時

の着色度合いや、留意点などを学びました。

実習は、こまつなのは種とさといもの追肥・土寄せを行いました。

こまつなのは種では、今回の実習が予定していた13品目の野菜の植付けの最後になるため、肥料を計量・散布し、クワで混和・畦立てをし、2条に1cm間隔では種してから、防虫ネットを設置するという一連の作業をしました。

その後、さといものに追肥をして、クワと三角ホーを使って土寄せを行いました。

実習の最後は、6月24日、25日には種したえだまめの収穫で、ピーマンと一緒に実習の成果として持ち帰りました。

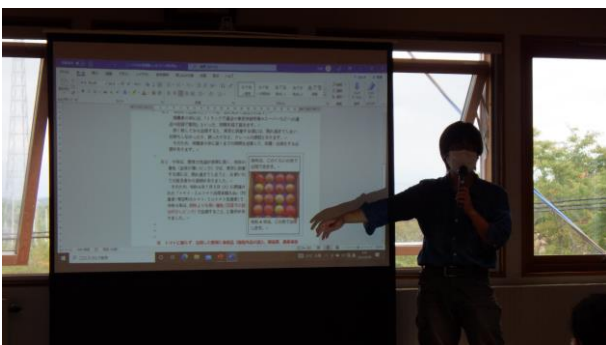
第16回の研修は、9月16日(金)に、雫石町御所公民館で、就農の準備で知っておきたい支援策などについての講義を行い、その後、実習ほ場へ移動して、間引きや土寄せなどの管理を行う予定です。



講義「残渣のたい肥化について」の様子



こまつなのは種する様子



講義「トマトの出荷調製について」の様子



三角ホーを使った土寄せの様子